



Dream

2011年6月号
Vol. 44-12 2011. 6. 1
Bulletin

会長標語 みーんなで やろまい

国際会長主題 「心新たに立ち上がろう」	藤井 寛敏 (東京江東クラブ)
アジア地域会長主題 「心新たに立ち上がろう」	高田 一彦 (横浜クラブ)
西日本区理事主題 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」	仁科 保雄 (京都キャピタルクラブ)
中部部長主題 「ワイズはフェイスtoフェイス」	渋谷洋太郎 (金沢クラブ)
クラブ主題 「限りなき熱情を奉仕に」	

今月の聖句

人は心に計画を持つ。主はその舌に答えを下さる。
人は自分の行ないがごとく純粋だと思う。しかし主は人のたましいの値うちをはかれる。
あなたのしようとすることを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画はゆるがない。

箴言 16章1節～3節

強調月間 評価・計画

例会ご案内	
<p>◎6月第1例会</p> <p>日時：6月9日(木) 18:45～20:45 場所：ラ・スースANN Tel. 052-950-0280</p> <p>担当：菅沼東平君</p> <p>開会宣言・点鐘 八木武志会長 ワイズソング 5つの信条 橋爪良和君 食前の感謝 鈴木浩之君</p> <p>—会食— 卓話 「ピカソはやっぱり名古屋人だった」 講師：山田彊一氏 現代美術家 エッセイスト 日本民族芸術学会・会員 名古屋芸術大学・日本福祉大学講師</p> <p>メンバースピーチ 鈴木孝幸君 報告 閉会宣言・点鐘 八木武志会長</p>	<p>◎6月第2例会</p> <p>日時：6月16日(木) 19:00～20:30 場所：名古屋YMCA 会議室</p> <p>◎東日本大震災被災地支援街頭募金</p> <p>日程：6月5日(日) 12:30～16:00 場所：名古屋YMCA 集合 栄・名古屋駅</p> <p>◎第14回西日本区大会</p> <p>日時：6月11日(土)～12日(日) 場所：京都・ウェスティン都ホテル</p> <p>◎中部役員引継</p> <p>日時：6月19日(日) 17:00～ 場所：栄・栄太郎</p> <p>◎第44回クラブ総会(裸で語り合う会)</p> <p>日時：7月2日(土) 17:00 集合 7月3日(日) 12:00 解散 場所：オテル・ド・マロニエ湯の山</p>

5月報告 (5月19日現在)

在籍者：正会員 21名 広義会員 1名 出席者：20名 5月暫定出席率：95.2%
4月出席率訂正 19/21=90.5%

例会は出席第一、欠席の場合は連絡主事まで連絡を!

強い義務感を持とう。義務はすべての権利に伴う。



会長メッセージ ⑫

会長 八木 武志

ようやくと言うか、やっと？もう？一年が過ぎようとしています。会長の役割を引き受け、年度の主題を「み～んなでやろまい」としました。クラブの運営はメンバー全員がそれぞれ積極的に係わることが大切だと思っています。なんとか会長の役割を終えることができるのは皆さんのご協力のおかげだと感謝しております。

7月からは柴田新会長にバトンタッチしますが、直前会長として「み～んなでやろまい」の心は忘れないで、出来ることはなんでもやるつもりです。

スタートで立てた目標は十分達成できたとは言えませんが、まあまあの出来と自己満足しています。われわれの心の故郷「根の上キャンプ場」の整備はまだまだこれからも取り組んでいこうと思います。

「限りなき熱情を根の上へ」。

「ワイズはフェイス TO フェイス」

5月第1例会報告

●卓話「日本の復興に向けた政治の役割」

5月12日(木)

ラ・スース ANN

参議院議員 安井 美沙子氏

今月の卓話講師は民主党参議院議員、安井美沙子さんをお招きしました。

安井さんは東京のご出身ですが、民主党公募に応募され、国会議員を目指して昨年夏の参議院愛知県選挙区から立候補して当選されました。事務所が鈴木孝幸君のすぐ側であることから、講師をお願いし、卓話が実現しました。

数日前に台湾への視察を終えたばかりという安井氏は毎日、全国を飛び回り、ハードスケジュールをこなしています。それでもこの日は予定時間をオーバーして、最近の国会情勢、子ども手当のこと、震災被災地の見舞い、支援活動のこと、原発への不安、現政権執行部への不信など、多岐にわたって熱弁を振るわれました。

とくに感じられたことは、現役の党代議士であっても現執行部に対する不信は根強いということ。参加者からは、「国会議員は震災で何をしているのか、見えてこない」などの指摘がありましたが、その答えにも「現地での支援活動などを行っているが、執行部からの縛りがかかっている」と、不満感を隠し



ませんでした。

当選から、まだ1年もたっていませんが、それだけに地元の声をすくいあげて国政に反映したいという気持ちは強く感じられました。

大震災の復興はまだまだこれからです。原発事故の影響はまだ時間が必要で、今後の日本に与える影響の大きさは想像も出来ないほどです。国会議員の皆さんには、政局の動向よりも国民が一日も早く安心、安全な生活を送ることができるよう、その一点に関心をもって頂きたいと思うばかりです。



5月第2例会報告

5月19日(木)

名古屋YMCA

●5月第2例会での決定事項は以下のとおりです。

- ①6月例会の講師は山田彊一(きょういち)氏、1938年生まれ、現代美術家、エッセイスト、卓話のテーマは『ピカソはやっぱり名古屋人だった』
- ②7月裸で語る会の会場をオテルドマロニエ湯の山で7月の2~3日で行われることが決定された。会費は一泊二食12,000円とし、2日午後6時開会、閉会は3日12時とする。
- ③国際協力街頭募金は6月5日に行われ、東海クラブは名古屋駅名鉄百貨店付近とし、13時45分より募金を行う。
- ④クリスマスキャロル参加者懇親会とミニミニコンサート6月25日(土)午後2時より巖本真理メモリアルホール(栄)で開催される。
- ⑤東海クラブホームページについて
中部ホームページ委員長の荒川恭次君から試案とともに提案があったホームページについて東海クラブのトップページ(案)を参考にしながら意見交換をした。つくるのであればクラブのメンバーが見る環境をつくる必要がある。今までのブリテン製作と同様に、一部の人の負担が増えるのではないか？ホームページを作るメリットはあるのか等々、様々な話しがされた。

しかし最終的には荒川さんの試案で東海のホームページを立ち上げる事が決定された。

大震災被災地で支援活動

Yとワイズの可能性を思う

鈴木 一弘

YMCAからの派遣で、2つの被災地：岩手県塩釜市(4/7～14)、宮城県仙台市宮城野地区(4/28～5/1)で支援活動をしました。



塩釜では、新生塩釜教会を拠点に、キリスト教団体・仏教系団体と協力、①医療班(淀川キリスト教病院、キリスト教海外医療協力が3～4名で担当)、②心のケア班(牧師、住職、心の専門家3～4名)、③作業班：家屋内外の片づけなど(私もここに所属、5～30名)に分かれて活動しました。

仙台では地元の社会福祉協議会が中心となる、いわゆる「公設民営型」、作業ボランティア派遣数が300名を超える大規模な支援センターで、運営スタッフ側として働きました(同行者は「ボランティアネットワーク」のユース：梶原伸一さん)

顧みれば、大規模災害の現場では、常にそこにYMCAの姿・働きがありました。1959年：伊勢湾台風(名古屋Y)、1995年：阪神・淡路大震災(神戸Y)はもちろん、島原普賢岳噴火(1991)、東海豪雨(2000)、中越地震(2004)でも、其々のYMCAが役割を担っています。

今回の東日本大震災のように広域・長期に渡る支援では更に、海外における難民支援の実績や手法(自立支援・子ども、女性の支援)などが生かされ、参考になる気がします。東日本区山手クラブのメンでUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の浅羽俊一郎さんは、『一人ひとりと向き合い、顔を見ながらじっくり話を聞く「ミクロの学習」が難民支援には必要』と語っています(『AMDA Journal』)

また、自らが東海豪雨の被災者であるブラザクラブ島崎正剛メンの「悪夢2」(ブリテン5月号)からは、災害支援のヒントを学ぶことができます。

YMCAや社会に大きなネットワークを持つワイズの可能性を感じると同時に、今回このような機会を与えられたことに感謝申し上げます。

(写真は石巻市内の津波被災地域＝長谷川和宏ワイズ撮影)



「東日本大震災YMCA

募金ガイドライン」決まる

日本YMCA同盟に集約される東日本大震災YMCA募金のガイドラインが決定されました。

YMCA募金は、日本YMCA同盟理事会・常議員会の設置する東日本大震災YMCA募金管理委員

次期中部部長便り②

次期中部部長 長谷川 和宏

6月は期の最終月。例会の他、区大会と役員引継ぎ、そして協力募金の月でもある。

原発災害が絡み、東日本大震災復興は、先が見えない戦争並みの複合災害となってしまった。次期は、復興支援がキーワードとなる。

AC公告に満足せず、行過ぎた自粛に走らず、地震、津波、原発事故と自然エネルギーを学び、クラブ内外でユースらと協働し合う、そしてつながりあうことが出来たらワイズの活動はもっと拡がり、もっと楽しめると思う。

ワイズメンズクラブにとって、大震災復興支援は、これからが出番です。

今こそYMCAと共に、身近に出来る被災地への支援募金や支援活動をクラブでも、個人レベルでも忘れないで、続けていきたい。

「先ず一歩 一楽しもう、学ぼう、働こう、そして、つなげようー」

会(以下YMCA募金管理委員会)の監督のもと、目的に応じて、以下の1と2に区分されます。

1.東日本大震災YMCA 青少年救援・復興募金
・地域コミュニティ復興を前提とした一般募金全般

・原則として、街頭募金や口座振込み、会員からの協力で寄せられる募金

2.東日本大震災 被災YMCA支援募金：

・被災YMCAの支援を目的とした募金全般
同盟に寄せられた募金のうち、とくに指定がない場合は1の募金として取り扱われます。

募金管理委員会は日本YMCA同盟理事会の委任を受け、募金の使途決定及び評価を行う組織で、委員長には勝田正佳日本YMCA同盟常議員会議長が、また副委員長として東海クラブの野村秋博日本YMCA同盟理事も加わります。



東日本大震災支援街頭募金

5日に栄、八事、名古屋駅で

名古屋YMCAでは3月11日の大震災以来、3回にわたって街頭募金を実施していますが、今回は子供達と一緒に毎年実施している国際協力募金と同じ形で、6月5日(日)に街頭募金を行います。

東海クラブは名古屋駅のグループに参加する予定です。参加できる方は午後1時45分までに名鉄百貨店前に集合してください。

お誕生日おめでとうございます

メ ン 6月28日 浅井 秀明君

結婚記念日おめでとうございます

長谷川和宏・君子さん 6月18日



**今月の西日本区強調月間は
「評価・計画」です**

今月の西日本区の強調月間は最後の月にふさわしく、「評価・計画」とされています。

仁科保雄西日本区理事は「すべての事業について評価される結果を残し、更なる発展を次期にゆだねる。一年間の事業活動内容を提出し、その評価を得る」とコメントされています。

東海クラブだより

◇根の上ワークが5月15日(日)に行われました。参加は5人でしたが、これまでに伐採して積み上げてあった樹木の焼却がかなり進み、キャンプ場もかなりすっきりしてきました。外部の利用も増えています。皆さん、また根の上にぜひお越しください。

◇会費振込のお願い

今月は年度末です。会費納入は次期に繰り越すことないように、ご協力をお願いします

会費 1カ月 7000円

年間 84000円

振込先 三菱東京UFJ銀行

鳴子(なるこ)出張所

普通 3542610

口座名 名古屋東海ワイズメンズクラブ



編集後記

◆大震災から3カ月がたとうとしています。少しずつ現場からの報道が少なくなっているような気がしますが、被災地での苦労はこれからが本番でしょう◆毎日、家族と話し、一緒に食事を頂くこと。当たり前なのがとても大切なことだと、この震災は教えてくれました◆それにしても被災地の子供たちはどうして、あれほど笑顔がすばらしいのでしょうか。私たち大人は、あの子供たちに明るい未来を残さなければなりません。それが大人としての責任でしょう◆梅雨入り。そして暑い夏の訪れです。この夏は「15%節電」で生活が変わりそうです。扇風機が売れ、ゴーヤの苗がグリーンショップで売り切れています。夏の暑い日差しはグリーンカーテンと打ち水で。多くの人がそんなことを考えています。(Y. H)

No.	開催日	5 / 12 日 第 1 例 会	5 / 19 第 2 例 会	5 / 15 根 の 上 作 業		フ ア ン ド ポ イ ン ト	
1	浅井 秀明	広義会員					
2	浅野 猛雄	○	○	○		3950	
3	伊藤 貴久					4450	
4	遠藤 彰一		○			16100	
5	加藤 友昭	○				4500	
6	柴田 洋治郎	○	○			8100	
7	菅沼 東平	○	○			500	
8	杉山 敏雄	○		○		16300	
9	鈴木 一弘	○	○				
10	鈴木 孝幸	○				30000	
11	鈴木 浩之	○	○			6050	
12	野村 秋博	◎	○			15550	
13	野崎 勉	○				1000	
14	橋爪 良和	○	○	○		13400	
15	長谷川 和宏	○	○			8350	
16	服部 敏久	○				2750	
17	東田 美保	○	○			1950	
18	深川 直	○	○			11900	
19	松本 勝	○	○			4700	
20	八木 武志	○	○	○		11300	
21	山田 英次	○				6200	
22	山村 喜久	○		○		7700	
	安井氏秘書	横山氏					

◆2010～2011年度クラブ役員

会 長：八木 武志 副会長：加藤 友昭
直前会長：伊藤 貴久 書記：浅野 猛雄
一般会計：柴田 洋治郎 特別会計：鈴木 浩之
連絡主事：東田 美保

YMCAサ・ユース 鈴木(一)、杉山、加藤
地域奉仕・環境 松本、濱島
EMC(会員増強) 伊藤、山田、服部
ファンド(BF) 鈴木(孝)、橋爪、山村
クラブファンド 遠藤、服部、鈴木(浩)
交流(IBC、DBC) 野村、野崎、鈴木(孝)
広報・ブリテン 深川、橋爪、菅沼、浅野、
松本、長谷川

根の上担当 山村、伊藤、杉山、橋爪、
長谷川

国際募金 鈴木(一)、山村

◆次期中部役員

部長 長谷川 和宏 書記 八木 武志
会計 松本 勝 事務局長 浅野 猛雄
部会実行委員長 橋爪 良和
同副委員長 服部 敏久

【敬称略】